病害虫情報第３号

平成 30 年 5 月 23 日
岐阜県病害虫防除所

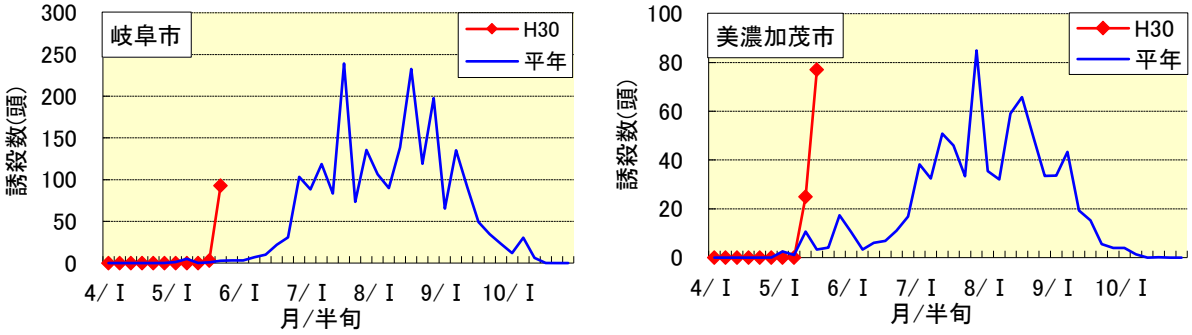
チャバネアオカメムシの飛来に注意！！

県下で、予察灯およびチャバネアオカメムシフェロモントラップへの誘殺数が 5 月第 4 半旬頃から急激に増加しています（図）。

また、岐阜および中濃地区のカメムシ類によるサクラ果実吸汁率調査（調査日：5 月 22 日）では、3 箇所の地点で、吸汁率が果樹園への飛来の目安となる 80%を超え、その他の地点でも高い吸汁率となっており、一部のカキやナシ園では、すでに飛来が確認されています（表）。

現在発生している越冬世代成虫は、7 月下旬頃まで発生が続くと予想されるため、各ほ場への飛来状況に留意し、飛来を確認した場合は、直ちに防除を実施してください。

・予察灯



・フェロモントラップ

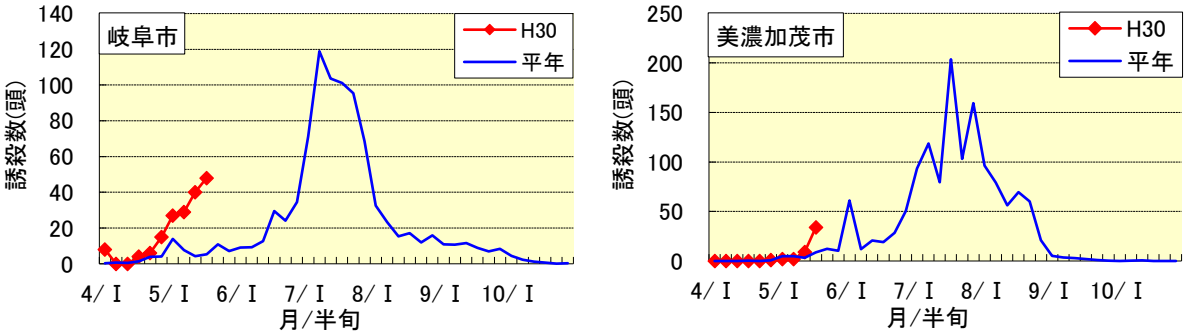
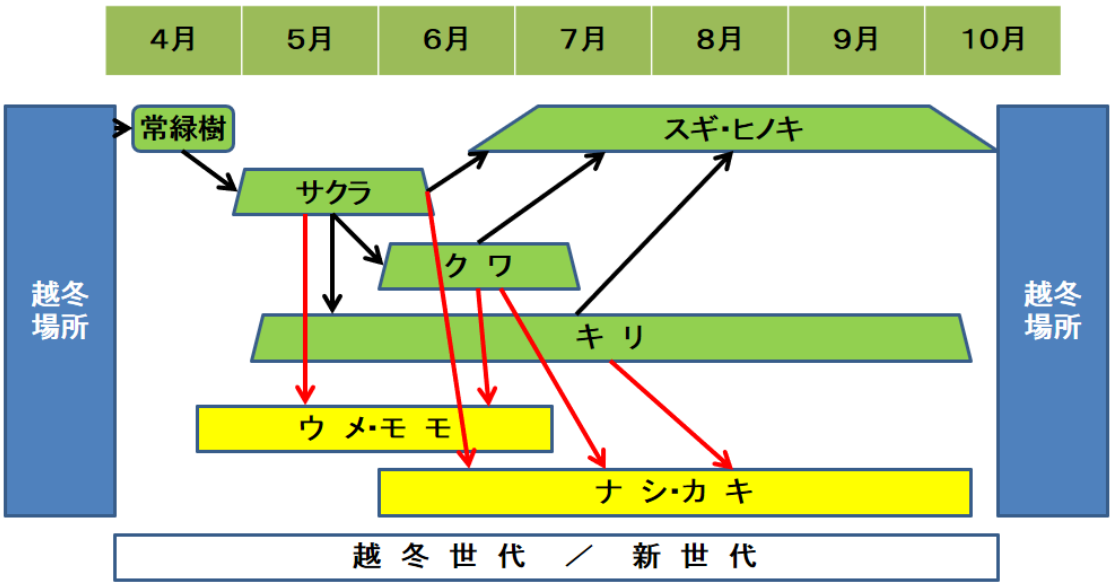


図　チャバネアオカメムシの予察灯・フェロモントラップ誘殺数

表　カメムシ類によるサクラ果実吸汁率

調査地域	調査地点	吸汁率
岐阜・西濃	岐阜市椿洞	96.7%
	池田町大津谷	80.0%
中濃	美濃加茂市山之上	87.8%
	美濃市曽代	75.0%

【参考：チャバネアオカメムシ生息場所の季節的推移】



チャバネアオカメムシ越冬世代成虫は、4月下旬から餌探索飛行行動を開始します。5月中旬にサクラ果実が結実する頃に、そちらへ移動し、食害します。サクラ果実を食い尽くした場合、7月上旬頃にスギ・ヒノキの果実が結実するまで、ウメ、モモ、ナシ、カキなどの果樹園に飛来します。

今年はサクラ果実の多くが、すでに成熟・落果しており、チャバネアオカメムシ越冬世代成虫が、果樹園に飛来する可能性が高くなっています。

・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農林水産消費安全技術センター
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm
・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/